

7/14 本番さながらに 消防演習

置戸消防団の消防演習が7月14日、ファミリースポーツセンターグラウンドで実施されました。この日は、町内各分団から100人の消防団員が参加し、小隊訓練や消防ポンプ車操法など日ごろの訓練の成果を披露しました。演習の最後を飾った模擬火災訓練では、消防車が一斉に放水し、中央公民館前庭に巨大な7つの水柱が並ぶと、会場からは大きな拍手が送られていました。



8/2 置戸っ子が「東京体験」

置戸の子どもたちが東京都多摩市を訪れる「東京体験ツアー」が7月28日から6泊7日の日程で行われました。多摩から置戸を訪れる「ふるさと体験ツアー」と隔年で実施されている交流事業で、今年で24回目。参加した小学5～6年生の児童13人は、体調を崩すこともなく全員元気に帰町し、「ホームステイが楽しかった。暑かったけどまた行きたい」と話していました。



8/5 朝日を浴びてラジオ体操

日本の夏の風物詩ともいえるラジオ体操会が中央公民館前など町内3カ所で行われました。参加した小学生は、眠い目をこすりながらもラジオから流れる曲にあわせて体操をし、終わると誇らしげにカードへスタンプをもらっていました。生活リズムが不規則になりがちな夏休み中に、ラジオ体操のおかげで早寝早起きが出来たという小・中学生も多かったのではないのでしょうか。



8/8 どんぐりでリコーダー演奏会

置戸中学校リコーダー部が8月8日、こどもセンターどんぐりを訪れ、ミニコンサートを開きました。部員8人が出演し、「さんぼ」「千の風になって」「ピタゴラススイッチのエンディングテーマ」など計6曲を披露。ソプラノからコントラバスまで5種類のリコーダーで深みのある音色を響かせ、園児たちは真剣な表情で聴き入り、演奏が終わるたびに大きな拍手を送っていました。

